

社会福祉法人さぽうと21主催

平成25年度文化庁「生活者としての外国人のための日本語教育事業」

# 日本語教育の今、 そして これから

嶋田 和子

(社)アクラス日本語教育研究所

[kazushimada@acras.jp](mailto:kazushimada@acras.jp)

2014.1.26 11:00~12:30

# はじめに、キーワードの確認

---

- ① **クリティカル・シンキング** → 「なぜ」を問う
- ② **対話力** → 正解は一つではない！
- ③ **マクロとミクロ** → 全体の中の「私たち」
- ④ **連携と協働** → 「オールジャパン」の必要性
- ⑤ **日本人側の意識改革** → 「ともに」を大切に！
- ⑥ **発信** → 多様な手法を有機的に！

# 今日の研修

---

研修時：受け身ではなく、積極的に発信し、  
仲間と話し合って、考えて深める。

研修後：自分で考え、調べてみる。



日本語教室での活動も同様！！！！

# ちょっと参考に・・・

・聞いたことは、	10%
・見たことは、	15%
・聞いて見たときは、	20%
・話し合ったときは、	40%
・体験したときは、	80%
・教えたときは、	90%

---

**日本語教育の**

**これまでの「道のり」を**

**振り返りながら、**

**「現状」を見つめなおす。**

# グラフで見る日本語教育の変遷

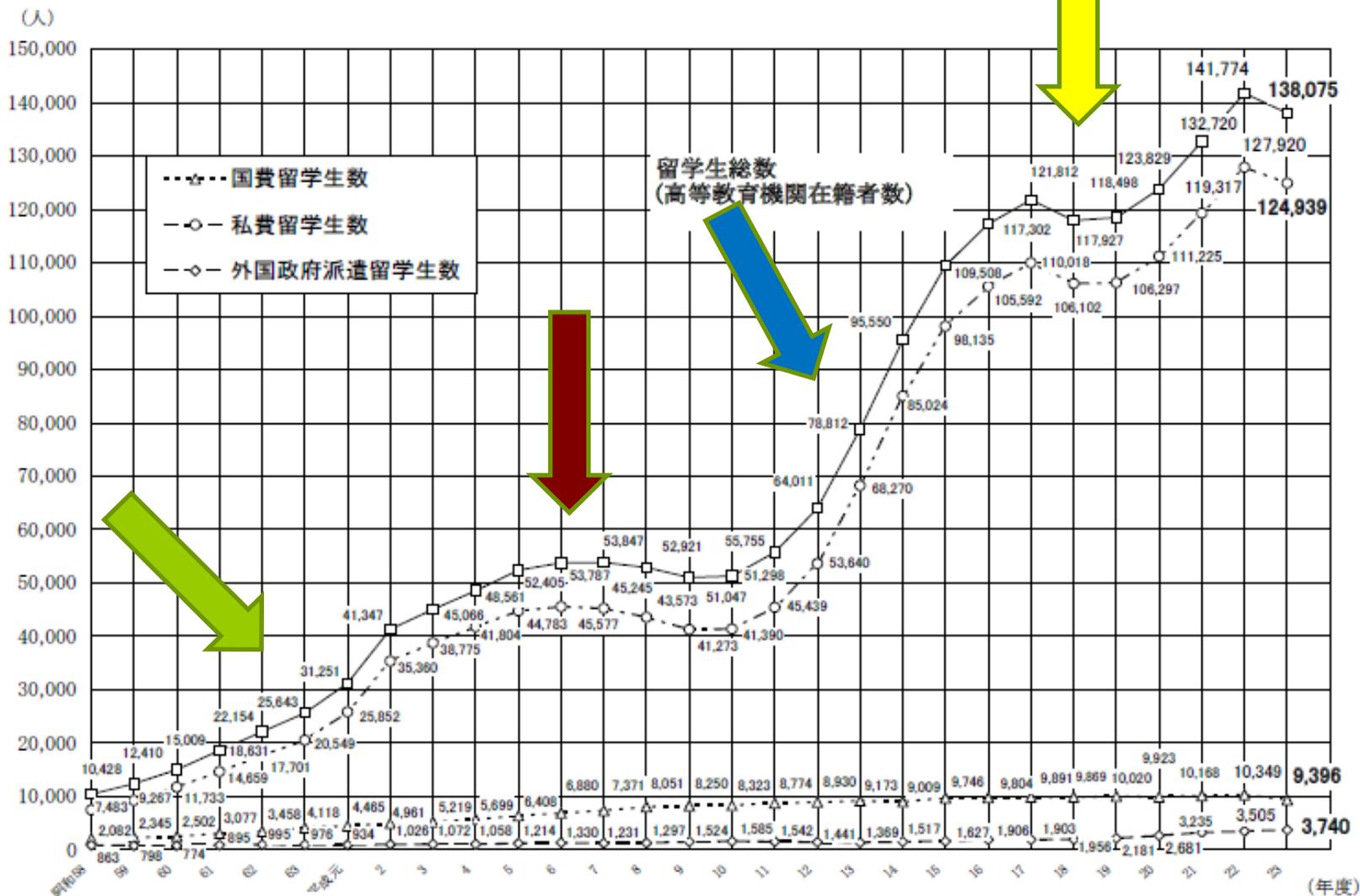
---

- ① 留学生数の変化は、**なぜ**起こったのか？
  
- ② 日本語学校って何？  
**なぜ**変化が激しいのか？
  
- ③ 日本社会で、日本語を学んでいる人の数は？  
増減は**なぜ**？  
どういう「対応」がなされているのか？



# ①留学生数の推移を見ると...

1. 留学生数の推移 (各年5月1日現在)



各年5月1日現在	留学生数
昭和59年 (1984)	10,428人
平成元年 (1989)	31,251人
平成6年 (1994)	52,405人
平成10年 (1998)	51,047人
平成15年 (2003)	109,508人
平成21年 (2009)	132,720人
平成22年 (2010)	141,774人
平成23年 (2011)	138,075人



# 平成23年の内訳

---

中国	87,533人(1,360人(1.6%)増)
韓国	17,640人(▲2,562人(▲12.7%)減)
台湾	4,571人(▲726人(▲13.7%)減)
ベトナム	4,033人(436人(12.1%)増)
マレーシア	2,417人(▲48人(1.9%)減)

## ②日本語学校の推移を見ると・・・

各年7月1日現在	留学生数
平成3年 (1991)	35, 576人
平成8年 (1996)	11, 224人
平成11年 (1999)	21, 785人
平成15年 (2003)	42, 729人
平成17年 (2005)	25, 860人
平成22年 (2010)	43, 669人
平成23年 (2011)	33, 239人
平成24年 (2012)	29, 235人



平成15年		平成17年		平成24年	
中国	31,669	中国	11,986	中国	18,093
韓国	7,023	韓国	7,512	韓国	2,695
台湾	1,064	台湾	1,295	ベトナム	2,039
タイ	354	ベトナム	1,004	台湾	1,425
スリランカ	354	スリランカ	890	ネパール	1,371
ベトナム	298	ネパール	663	タイ	460
バングラデ シュ	268	タイ	567	ミャンマー	444
モンゴル	248	バングラデ シュ	351	インドネシ ア	284
マレーシア	212	インドネシア	255	モンゴル	266
ネパール ミャンマー	164	ミャンマー	197	スウェーデ ン	212
その他	911	その他	1,140	その他	1,966
計	42,729	計	25,860	計	29,235

# ③全体の日本語学習者数の 変化を見ると・・・(文化庁)

	H14	H21	H23	H24
大学等機関	36, 895	55, 621	40, 799	44, 104
地方公共団体・ 教育委員会	7, 916	18, 377	14, 649	15, 405
国際交流協会	14, 249	20, 402	11, 866	17, 476
上記以外	67, 290	76, 458	60, 849	62, 628
合計	126, 350	170, 858	128, 161	139, 613

# 中長期在留者の数は？

---

平成24年7月9日から施行された新しい在留管理制度の対象となる中長期在留者の数は、平成24年末現在、

165万6,514人

同年末の特別永住者数は、

38万1,645人

中長期在留者と特別永住者を合わせた在留外国人数は、

**203万8,159人（　　％）**

総数：2,038,159人(24年末)

東京都 393,974人

大阪府 203,465人

愛知県 197,149人

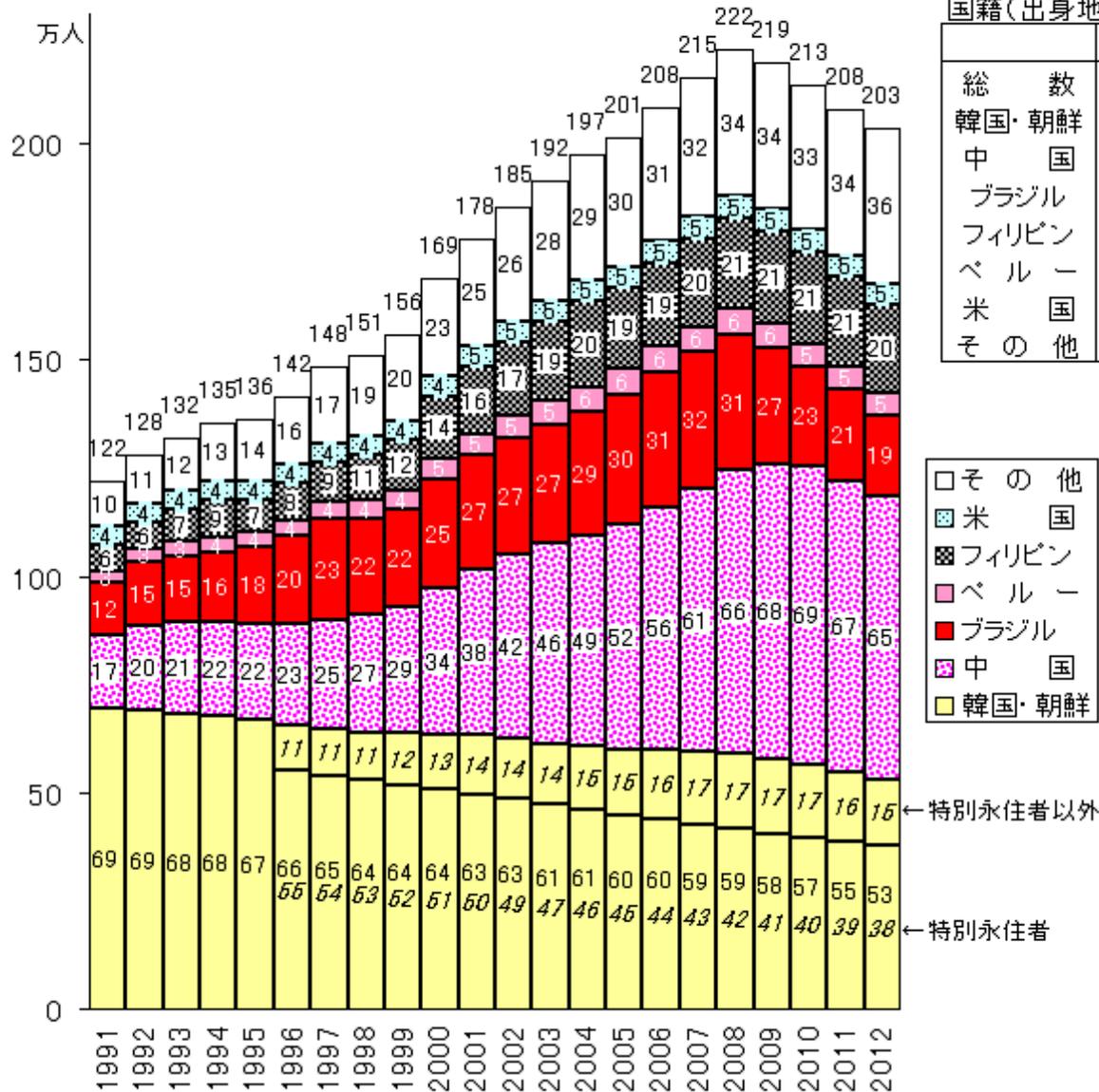
神奈川県 162,325人

埼玉県 117,989人

品川区は？  
自分の住んでいる町は？



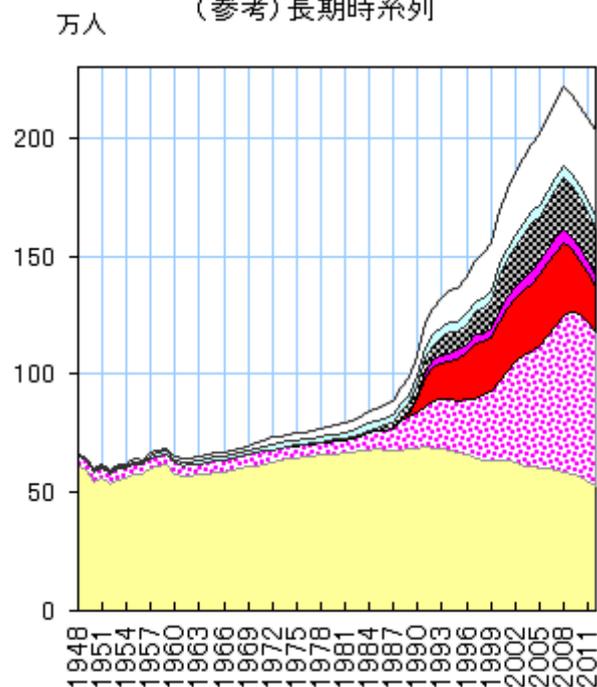
在留外国人(登録外国人)数の推移(毎年末現在)



国籍(出身地)別在留外国人(登録外国人)数の推移 単位:人

	1992年末	2012年末	増減数	倍率
総数	1,281,644	2,033,656	752,012	1.6
韓国・朝鮮	688,144	530,046	-158,098	0.8
中国	195,334	652,555	457,221	3.3
ブラジル	147,803	190,581	42,778	1.3
フィリピン	62,218	202,974	140,756	3.3
ペルー	31,051	49,248	18,197	1.6
米国	42,482	48,357	5,875	1.1
その他	114,612	359,895	245,283	3.1

(参考)長期時系列



(資料)法務省「在留外国人統計(旧登録外国人統計)」

# 変化の根底にあるものは？



◆ 外的要因は？

◆ 内的要因は？

⇒ どう絡み合って、  
どんな形で、  
どう変化しているのか？

# どう対応してきたのか？

---

- ◆ 国の対応の遅れ
- ◆ ボランティア活動の始まり
- ◆ NPO、日本語教育機関、ボランティア教室誕生
- ◆ 各自治体もそれぞれの取り組み  
⇒ 自治体間の連携

しかし、～～～

# さまざまな日本語教育・支援

---

- ◆留学生のための日本語教育
- ◆ビジネスパーソンのための日本語教育
- ◆研修生のための日本語教育
- ◆生活者のための日本語教育
- ◆難民支援のための日本語教育
- ◆中国帰国者のための日本語教育
- ◆介護看護のための日本語教育
- ◆子どものための日本語教育

.....

# 縦割り行政／連携の薄い取り組み

---

- ◆日本語学校(日本語教育機関)の学生は・・・
- ◆大学の留学生は・・・
- ◆研修生は・・・
- ◆小学生などは・・・
- ◆「生活者としての外国人」は・・・
- ◆中国帰国者は・・・
- ◆EPAの看護・介護候補生は・・・

..... ⇒

そこで新たな取り組みが～～～

---

**日本語教育の**

**今後をどう考え、**

**どう行動していけば**

**いいのか？**

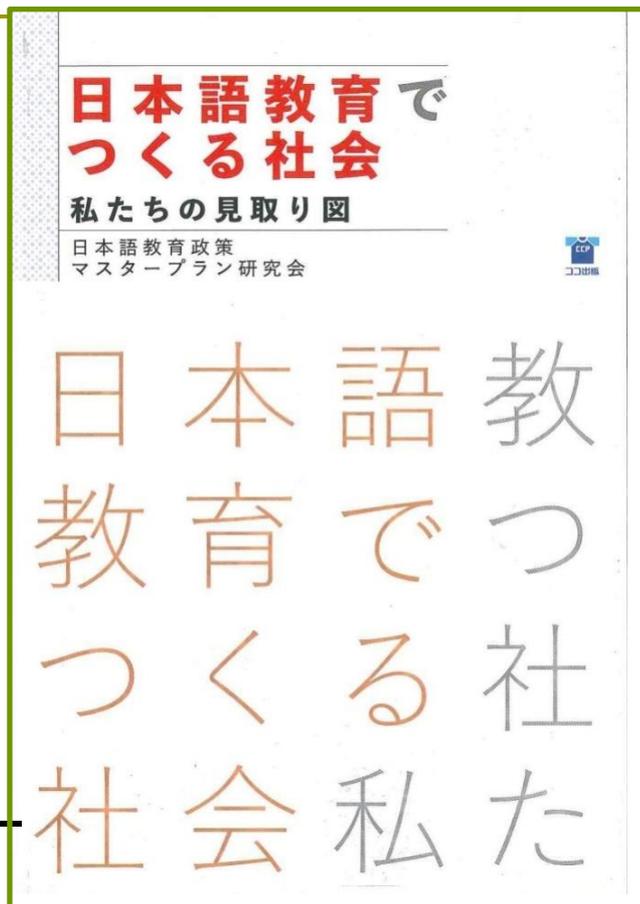
# オールジャパンで取り組む必要性

キーワード:

- ・発信する
- ・つながる
- ・伝え合う
- ・ともに創る

共創型対話の重要性

- ★日本語教育振興法
- ★コーディネーター
- ★言語学習権(日本語・母語)
- ★学校・行政・地域・企業などをつなぐ日本語教育……



# 午後の発表とパネルディスカッション

---

## ◆高柳なな枝さん

さいたま市日本語指導員  
地球っ子クラブ 2000代表

## ◆林 光洋さん

駒ヶ根市役所総務部企画課企画調整係主査

## ◆安場 淳さん

中国帰国者定着促進センター教務部教務第一係長

# 『多文化共生の視点から見た “日本語を学ぶ”ということ』

## I 日本語学校から日本を見る

- ・日本語学校は単なる語学学校？
- ・触れ合い重視の日本語教育
- ・正確さ・流暢さ + 適切さ
- ・留学生は「未来からの大使」

## II 地域社会から日本を考える

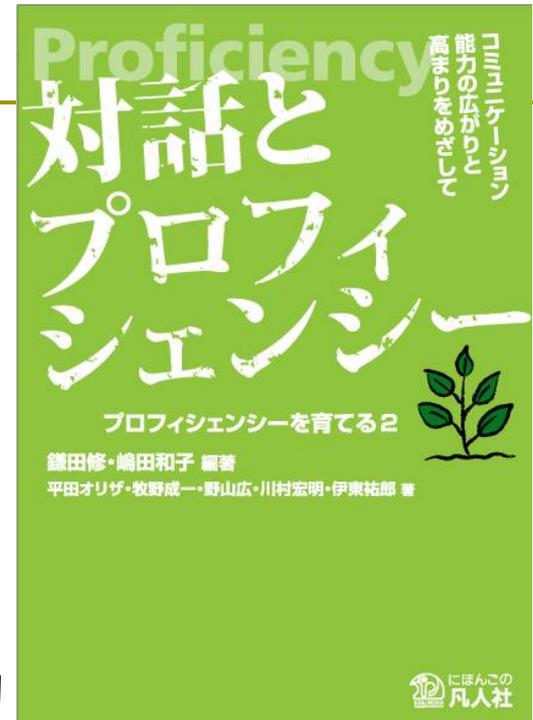
- ・定住外国人配偶者の悲しみ
- ・日系ブラジル人と日本語

## III 共生のための日本語学習

- ・30年後の日本社会は？
- ・「留学生30万人計画」再考
- ・「多様な日本語」をめざして

# 21世紀の日本語教育は対話重視」

**対話**＝異なる価値観を持つ人同士がやり取りをする中で、聞き手と話し手双方が、他者理解と自己理解を図り、新たな価値観を創り出す



◆自分のこと／自分の考えを伝える力  
伝え合う・語り合う日本語力を身につける



**大切なこと：人とつながる力を養うこと**